

スズキ電気大正琴

T A S - 1 1

桂

—— かつら ——

取扱説明書

この度はスズキ大正琴「桂」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品を安全に、そして末永くご使用いただくため、この取扱説明書をよくお読みください。お読みになった取扱説明書は、なくさないように大切に保管してください。



目次

仕様	1
使用上のご注意	2
各部の名称	3
音階ボタンと音域	4
調絃のしかた	5
譜の読み方	7

奏法と記号	8
弾き方	9
アンプへの接続と取り扱い	10
アンプの紹介	11

※最終ページに保証書を添付しております。

大正琴「桂 TAS-11」仕様

機種名	音域	絃	付属品	寸法	重さ
桂	27鍵 5 $\sim$ 6 $\sharp$ $\sharp$  第一絃～第三絃の音域 (第四絃は1オクターブ低くなります。) ※第五絃についてはP5をご覧ください。	第一絃 } 第二絃 } 共通 細線(SGM-123) 第三絃 } 第四絃 細巻線(SGM-4) 第五絃 太巻線(SGM-5)	セミハードケース ピック クロス 予備絃 (細線一本、細巻線一本)	(幅×奥行×高さ) 73×15×8cm	本体 1.5kg ケース 1.3kg

使用上のご注意

必ずお読みください。



水・湿気は大敵です

水分や湿気の多い場所では、絶対に使用・保管しないでください。故障の原因となります。



熱くなる場所を避けてください

自動車の中や暖房器具のすぐ近くなど、極端に熱くなる場所での使用・保管は避けてください。変形・故障の原因になることがあります。



ホコリっぽい場所は避けてください

ホコリの多いところでの使用・保管は避けてください。故障の原因になることがあります。



衝撃を与えないでください

楽器をぶつけたり、落としたりしないでください。製品に傷を付けるだけでなく、故障の原因になります。



不安定な場所に置かないでください

楽器を不安定な場所に置かないでください。転倒・落下をして思わぬケガをする危険があります。



調絃時は顔を遠ざけて

絃の張り替えや調絃のときは楽器に顔を近づけすぎないようにしてください。万一絃が切れますと、顔や目を傷つける恐れがあり危険です。



絃で手を傷つけないように

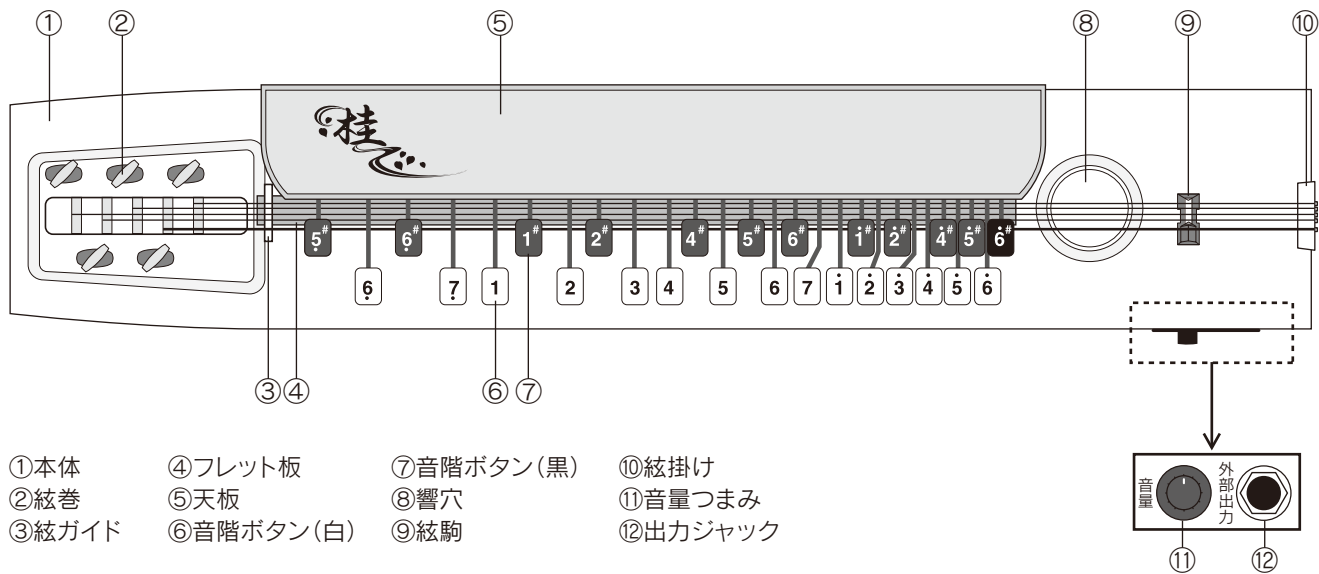
調絃や張り替え・お手入れのとき、絃の先端で手や指などを傷つけないように気をつけてください。



お手入れはやわらかい布で

お手入れはやわらかい布でカラ拭きしてください。アルコール・シンナー・ベンジン等は製品を傷めますので絶対に使用しないでください。

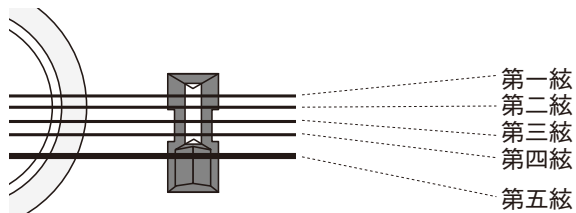
各部の名称



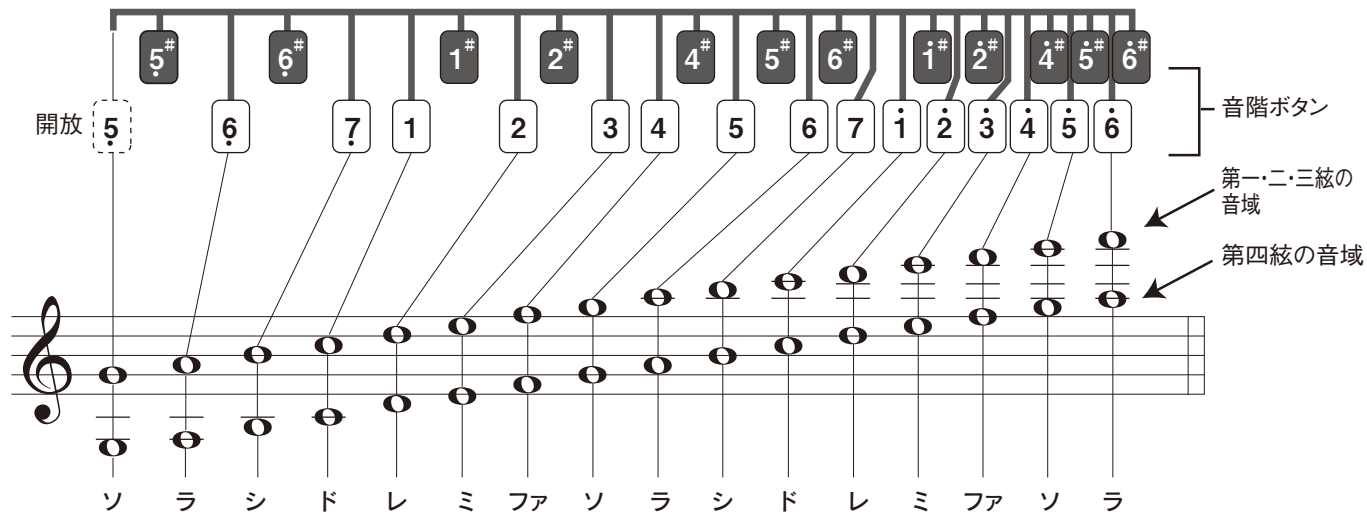
音階ボタンと音域

桂の各弦の名称及び音階ボタンの音は以下のようになっています。

■ 各弦の名称



■ 音階ボタン

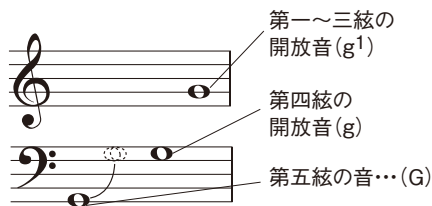


調絃のしかた

大正琴は演奏の前に必ず調絃をしましょう。調絃は、各絃とも全て開放（ボタンを押さえない）状態で行います。絃巻きは時計回りに回すと音程が上がり、反時計回りに回すと下がります。

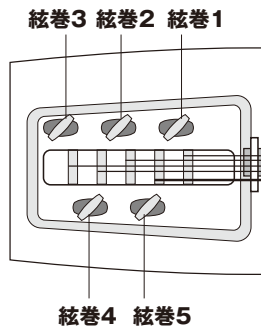
※別売りのスズキ大正琴チューナーST-300s(以下チューナー)等を用いると調絃がより容易にできます。

【各絃の開放音】



【絃巻】

絃巻1…第一絃の絃巻
絃巻2…第二絃の絃巻
絃巻3…第三絃の絃巻
絃巻4…第四絃の絃巻
絃巻5…第五絃の絃巻



■ 調絃の手順

1. 第一絃を「ソ・g¹ (G4)」の音に合わせます。

ピックで第一絃をはじき、第一絃が「ソ・g¹ (G4)」の音になるよう、絃巻1を回して音を調節します。

2. 第二絃、第三絃を第一絃と同じ音に合わせます。

第二絃・第三絃をピックではじき、第一絃と同じ音になるよう、それぞれ絃巻2、絃巻3で調節します。第一絃の音と比較しながら音を合わせます。

3. 第四絃を第一絃～第三絃よりも1オクターブ(8度)低い音に合わせます。

第四絃をピックではじき、第一絃～第三絃より1オクターブ低い「ソ・g (G3)」になるよう、絃巻4で調節します。

4. 第五絃(ベース絃)を第四絃よりも1オクターブ(8度)低い音に合わせます。

第五絃をピックではじき、第四絃よりさらに1オクターブ低い「ソ・G (G2)」になるよう、絃巻5で調節します。ただし第五絃は曲目などに応じ、で示した範囲内で調節していただけます。

調絃のしかた

■ 調絃に関してのお願い

絃は張っておくと、わずかに伸びて音程が低くなりがちです。

当社では調絃を完了済みで出荷していますが、演奏前には、音程を確認し、再調絃してください。

第五絃の調絃は、演奏する曲目に合わせ、調子を変えると、効果があがることがあります。

あまり音程を上げすぎると絃が切れるおそれがありますので、 (5ページ【各絃の開放音】図)で示した範囲で調絃されるようお願いいたします。

なお  の範囲より高い音程で使用される場合は、第五絃を第四絃と同じ絃に取り替えて演奏してください。

絃は消耗品です。さびたり、伸びきったり、切れかかっていると、音程が狂い、音色・音質も悪くなります。

その時は早めに専用絃に取り替えてください。※

※桂は「琴城流大正琴 瑞穂(みずほ)」の音色を継承した大正琴として生まれました。そのため「桂」は「瑞穂」と全て同じ絃を採用しています。

これらの絃は、従来の絃よりも細くなっており(ライトゲージといいます)、より伸びのある繊細な響きを生み出しています。

絃の型番は1ページの仕様をご確認ください。

■ 絃の張り替え方

詳しくは動画をご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=KYkINkF-OdY>



譜の読み方

大正琴の楽譜は、「数字譜」と言い、「ド・レ・ミ・ファ・ソ・ラ・シ・ド」は「**1・2・3・4・5・6・7・1**」と表します。
音符と休符は下表のようになっています。下表では**1 (ド)**の音で記入してあります。

音符(音の長さ)は**1~7**の数字1つを1拍とし、**ー、=、0**などの記号との組み合わせで表します。

休符は**0**を1拍として、**0、0、0-、0-**などの記号で表します。

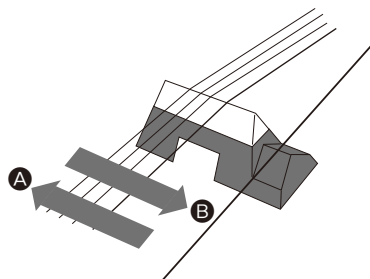
四分音符を1拍と数えた場合の表

拍数	音 符	大 正 琴 の 音 符	休 符	大 正 琴 の 休 符
4 拍	全音符 	1 0 0 0	全休符 	0 0 0 0
2 拍	二分音符 	1 0	二分休符 	0 0
1 拍	四分音符 	1	四分休符 	0
$\frac{1}{2}$ 拍	八分音符 	<u>1</u>	八分休符 	<u>0</u>
$\frac{1}{4}$ 拍	十六分音符 	<u>1</u>	十六分休符 	<u>0</u>
3 拍	付点二分音符 	1 0 0	付点二分休符 	0 0 0
1 拍半	付点四分音符 	1-	付点四分休符 	0-
$\frac{3}{4}$ 拍	付点八分音符 	<u>1</u>-	付点八分休符 	<u>0</u>-

補足) 数字譜には**♭**の表記がなく、全て**♯**におきかえます。

奏法と記号

大正琴は、音階ボタンの数字を譜に書いてあるとおりに押して、ピックで弦をはじいて曲を弾きます。弦をはじく方向は原則として、手前から向こう側です。**A** 曲によっては、**B**のように向こうから手前に弾く「かえし弾き」という弾き方をすることがあり、楽譜では「V」で表します。その他の記号については下の例を参考にしてください。



[かえし弾きの例]

$\frac{4}{4}$ 0 1 [#]2 5 [#]4 2 2 1 | 2 _W _V _V || 2の音で2拍目に2回(22という音)、3拍目、4拍目に1回ずつかえし弾きをおこないます。

[その他の記号例]

$\frac{4}{4}$ ||: 1 2 3 4 | 5 5 5 5 _V 0 | 5 4 4 3 2 1 | 1 1 1 1 1 1 1 0 :||

① ② ③ ④ ⑤

| 0 5 1 2 | 0 3 2 1 ||

⑥ ⑦

- ① 反復記号
- ② クレッシェンド(だんだん強く)
- ③ タイ(同音をつないでのばす)
- ④ トレモロ(**A**と**B**を早く繰り返して弾く)
- ⑤ 反復記号(①までもどり、繰り返して弾く)
- ⑥ 第五弦を弾く
- ⑦ デクレッシェンド(だんだん弱く)

弾き方

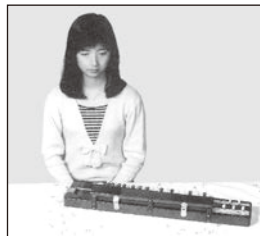
■ 演奏の姿勢

背筋を伸ばし、ゆったりと自然な形でかまえます。

目安として自分の右肩と大正琴の右端が揃うように置きます。

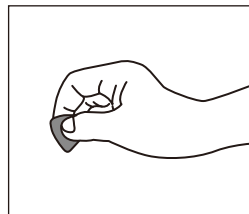
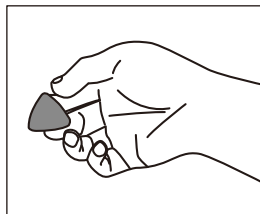
左手の親指が中央部「5」のボタンを無理なく押さえられる位置にします。

大正琴の左端をやや斜めにします。(体からやや前方に離します)



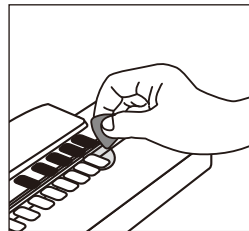
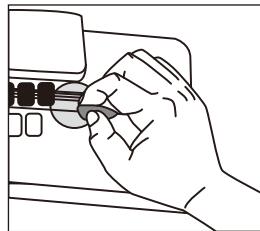
■ ピックの持ち方

右手ひとさし指と中指の上にピックをのせ、その上に親指を軽く当てて押さえます。ピックの先が真下を向くようにします。ピックを持つ指の位置が自然な状態になるようにしましょう。



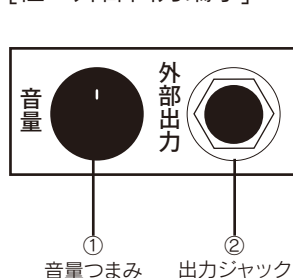
■ 手の位置とピックの当て方

右手首を大正琴本体の右端手前に軽くのせ、ピックの位置が絃の上にくるようにします。ピックは絃に対して直角に当たるようにします。

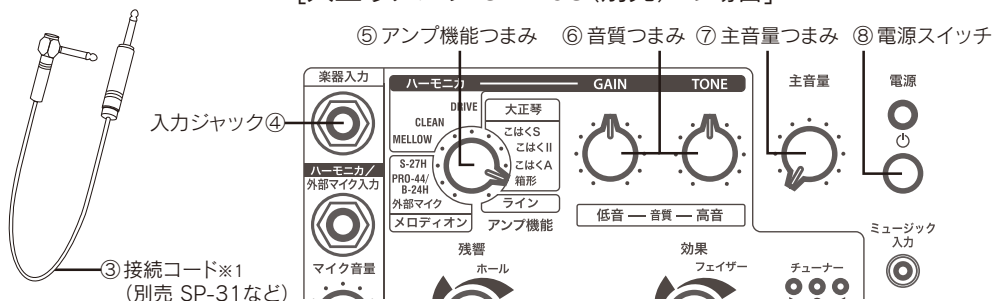


アンプへの接続と取り扱い

【桂 外部出力端子】



【大正琴アンプ SPA-03 (別売) の場合】



【操作手順】

- (1) 桂の出力ジャック②と使用するアンプの楽器入力ジャック④を接続コード③(別売)で接続します。
- (2) アンプの電源ジャックにACアダプターを接続し、100Vコンセントに差し込みます。※2
- (3) アンプの電源スイッチ⑧を入れます。
- (4) アンプ機能つまみ⑤を「箱形」に合わせます。
- (5) 桂の音量つまみ①を最大にし、試奏をしながら音が歪まない位置へアンプ側の主音量⑦を調節してください。
次に桂の音量つまみ①を少し戻して音量を調節してください。(演奏中での音量調節は、桂の音量つまみを使用してください。)
- (6) 好みによりアンプの音質つまみ⑥で音色を調節してください。

※1 6.35mm標準プラグのモノラルケーブル。

※2 アンプを乾電池で使用する場合には必要ありません。この時、乾電池の寿命が近いと音が歪みます。
そのような場合には新しい乾電池と交換してください。

アンプの紹介

「桂」は外部アンプに接続できます。

2024年7月現在

	SPA-03	SPA-40R	SPA-150R-L
コントロール	音量・音質 効果	音量・音質 リバーブ	音量・音質 リバーブ
ジャック	楽器入力 マイク入力	入力1～4 ライン出力	入力1～4 ライン出力
電源	DC9Vまたは AC100Vアダプタ(付属)	AC100V	AC100-240V
出力	3W (ACアダプタ使用時)	40W	150W
消費電力	3.4W	33W	45W
寸法 (幅×奥行×高さ)	26.2×17.4×22.3cm	24×22×32cm	32×31×62cm
重量	3kg	7kg	15kg

・アンプご使用の際は、アンプの取扱説明書も併せてご覧ください。

旧アンプとの対応表は弊社サイトをご覧ください。
<https://www.suzuki-music.co.jp/information/11433/>



アフターサービスについて

- 1.この商品には保証書を本取扱説明書巻末に添付しております。保証書は販売店でお渡しいたしますので、所定の事項の記入および記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。
- 2.保証期間はお買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容によりお買い上げ販売店が修理致します。その他、詳細は保証書をご覧ください。
- 3.保証期間が切れましても、修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。
- 4.アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはもよりの営業所にお問い合わせください。

株式会社 鈴木楽器製作所

〒430-0852 静岡県浜松市中央区領家2-25-7 ☎(053) 461-2325

www.suzuki-music.co.jp



お問合せ
フォーム